

# JSCE2020防災プロジェクト推進小委員会 活動報告

2023年5月30日

## ◆活動概要

JSCE2020-2024防災プロジェクト「土木を軸に国難災害に立ち向かう：複合・巨大災害の全貌解明と横断的対応体制の提案」の活動を円滑に進めるため、プロジェクトのコアメンバーによる推進小委員会にてプロジェクト全体の連絡、調整、方針決定を行う。

◆ 期 間：2020年5月～2025年3月（4年10ヶ月）

◆ 委員長：目黒公郎

◆ 幹事長：吉見雅行

◆ 委員数：11名（JSCE2020防災プロジェクトのコアメンバーは多数）

## ◆ 2022年度の活動報告

### 1) 委員会・WG活動等

オンラインでの打合せを随時実施

### 2) 行事等

2022/8/12 水道分野WS@土木学会 12名参加

2022/8/31 廃棄物分野WS@土木学会 12名参加

2022/9/13 土木学会全国大会 研究討論会@オンライン

2023/1/17 医療分野WS@土木学会 28名参加

2023/2/20 交通分野WS@四ツ谷 19名参加

## ◆ 2023年度の活動計画

### 1) 委員会・WG活動等の予定

プロジェクトの進め方に関する打合せを実施する。幹事会10回程度を予定

### 2) 行事等の予定

オンラインワークショップを複数回開催予定

### 3) 出版物等の予定

なし（note チャンネルにて発信予定）

## 活動計画1（JSCE2020防災プロジェクト）：

「首都直下地震」と「南海トラフ巨大地震」、さらに複合災害を対象に、時系列・空間的広がりをもつ災害の全体像を多分野体制によって多視点（立場、専門、職業、地域別）で具体的に提示するための活動を行う。2022年度までに電力・水道・廃棄物・交通・災害医療などの各分野の専門家・実務者を集めて実施したブレインストーミングワークショップを他分野（政治・経済・法律・環境など含む）にも展開・拡大し、現状の知見による災害像を描く。こうした活動を通じて、多視点・多角的に描かれた複雑事象から、分野間のギャップや災害の巨大さに起因する盲点などの抽出を試行する。

### 成果目標：

多分野の専門家・実務者を集めたワークショップを実施し、各分野における国難災害全体像フローチャートを作成する。

### 数値目標：

2022年度までに作成したフローチャート5分野分をさらに肉付けしていくと共に、新たな分野におけるフローチャートを4分野に亘って作成する。

## 活動計画 2（JSCE2020防災プロジェクト）：

本プロジェクトでは、過去の国難的災害（関東大震災、阪神淡路大震災、東日本大震災等）に関する18万件の新聞記事、約4万編の学術論文、過去20年間分の防災白書、計18件の災害対応検証報告書などを収集した上でデータベース化しており、これら収集したデータベースを基に、「災害関連情報検索・分析プラットフォーム（仮）」を開発した。

これまで開発した基本機能を改善・改良していくと共に、学会や分野間のギャップや、過去の国難災害間の比較など、ユーザが新たな気づきを得ることのできる分析システムとしてさらに更新を図る。また、土木学会内あるいは対外的に公開し、フィードバックを得る。

### 成果目標：

これまで収集した情報に加え、分野別の教訓集等の新たな資料を追加すると共に、学会や分野間のギャップや、過去の国難災害間の比較などの新たな分析機能の追加。

活動内容の広報に課題：  
2022年度のワークショップのうち後半2回について記者に依頼してnote記事を作成，公開  
(5/29)

土木学会noteからリンクを張ってもらう予定。

今後，note記事等でプロジェクト広報に努める。

<https://note.com/kokunansaigai>

note

キーワードや作者名で検索



投稿



 国難災害プロジェクト

**国難災害プロジェクト | 土木学会**

土木学会が運営する「国難災害プロジェクト」のnoteアカウントです。産官学を横断し、各専門領域と連携しながら、巨大災害の全体像の解明と発信をしています。本アカウントでは、活動のアーカイブと最新の成果をご紹介します。

1 フォロー 0 フォロワー

[設定](#)

ホーム 記事 メンバーシップ マガジン スキ 月別



命を救うための支援と受援を強くする  
国難災害の全体像を描くワークショップ 災害医療編

命を救うための支援と受援を高める——国難災害ワークショップ 災害医療編

土木学会では「社会と土木の100年ビジョン」を踏まえて、50年先、25年先の目標を設定し、2020年に策定した5カ年計...

 国難災害プロジェクト | ...  
51秒前



交通が被災しても暮らしを存続させていく  
国難災害の全体像を描くワークショップ 交通編

交通が被災しても暮らしを存続させていく——国難災害ワークショップ...

土木学会では「社会と土木の100年ビジョン」を踏まえて、50年先、25年先の目標を設定し、2020年に策定した5カ年...

 国難災害プロジェクト | ...  
2分前



<https://note.com/kokunansaigai/n2e35e245c74b>